

森の学校だより

ろうきん森の学校全国事務局 419-0305 静岡県富士郡芝川町下柚野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
URL: <http://www.wens.gr.jp/morinogakko/index.html> E-mail: forest@wens.gr.jp

森の人 Who's Who!?

ゆったりできる時間も増えて 子どもも私も楽しんでいます

雪の日に食べた、
熱〜い猪鍋が
美味しかったあ

Q…「ろうきん森の学校」に参加したきっかけは？

役場の仕事の関係で、「ろうきん森の学校」のスタッフの方と知り合いました。そうしたら、森の写真を持ってきては「楽しいよ〜」って見せびらかすの。羨ましくなって、仲間と顔を出してみたんです。初参加は2月の寒い雪の日。何をするのか分からないまま行ったら、雪の中から石を掘り出して広場に集めて「たき火場」作り。これが、大変だったけど面白かった。童心に返って何十年ぶりに雪合戦をしたりね。で、作業の後に熱〜い猪鍋までごちそうになって、すっかり「餌付け」されちゃったんですよ(笑)。

Q…今まで、特にアウトドア派ではなかったとか

そうなんです。家族でキャンプするわけでもないし。私は小さいときから川舎の海や川で遊んでいましたから、自然は大好きなんですけどね。それで、私が楽しそうに活動に出かけていくようになったら、下の娘が「私も行く!」ってついて来るようになったんです。上の子も学校の活動がない日には一緒に来ます。本当は、こういう活動は夫が一番好きなんですけど、今は仕事と時間が合わないので誘っていま

お話をする人 越野幸恵(こしの さちえ)さん

1963年、広島県安芸郡府中町生まれ。勤め先の府中町下水道課業務係で「ろうきん森の学校」の活動スタッフと知り合い、仲間を誘って参加したのがきっかけで里山仕事にハマる。最近では小学生と中学生の娘さんも一緒に顔を出し、親子で活動を楽しんでいる常連さん。

せん 言えば行きたがると思うんですが

Q…祐加ちゃん、佳奈ちゃんは、何が楽しい？

いろんな人とお話しできるのが楽しい。階段作りは、大人が木を切って、私たちは上を掘ったり杭で止めたりするのを手伝って、とっても面白かったし、麦踏みも初めてやった。あと、パンやヒザもおいしい(祐加ちゃん)。5mくらいある木に命綱をつけて吊り上げてもらって、そこから滑車でロープを滑って降りたのが楽しかった。上からは隣の万代池が見えて、とってもきれいだったよ(佳奈ちゃん)。

Q…「ろうきん森の学校」のいいところは？

とにかく、ゆったりできるところ。作業もあるけど、その合間に森林浴やバードウォッチングも楽しんでいます。本当にのんびりしたい人は「森のカフェ」も楽しいと思います。それと、食べ物が美味しい! 本格的な石窯で毎回パンを焼くので、私も粉から作れるようになりました。子どもから大学生や年配まで、いろんな人がいるし、初心者もベテランもいるから、1人でも仲間同士でも家族連れでも気軽に遊びに来たらいいと思いますよ。

佳奈ちゃん



祐加ちゃん

親子から大学生まで、
いろんな人が
来ますよ



御茶ノ水のオフィスで「ろうきん森の学校」体験入校!

Topics

3月初旬、東京・御茶ノ水のオフィスで、労働金庫連合会職員の皆さんに「ろうきん森の学校」の体験入校プログラムを出前してきました。この取り組みも今年で2年目。今回は皆さんの暮らしに「木」を取り入れていただこうと、40名ほどの皆さんが竹のお箸とヒノキのコースター作りを行いました。さらに、樹木や森林に関する「大人のテスト」にも挑戦! スーツ姿の皆さんが赤ペン片手に正解発表に歓声をあげたり、隣の解答用紙を覗き込んだりする姿はとても新鮮。気になる結果は、平均点が約60点、最高得点は75点と、なかなか難しかったようです。これを機に、実際に森で活動してくださる方が増えることを楽しみにしています。

*千葉の労働金庫連合会総合事務センターでも同様の研修を行いました。



「ろうきん森の学校」出前講座に参加して

労働金庫連合会 企画部 浅野朱実さん

会議室に広がる森の香り 富士山の麓から、その日運ばれてきたヒノキの間伐材の香りです。それだけで仕事を忘れリラックス。プログラムが始まると、今度はわいわいガヤガヤ、いつになく賑やかな会議室になりました。丸太切りと竹細工のグループに分かれての体験。まだ、みずみずしく湿り気のある丸太を切るのは意外に難しく、周りの人の手を借りたり、コツを教えてもらったり。普段、話す機会がない人の意外な一面も垣間見ることができました。鋸を引いた右腕はしばらく痛みましたが、清々しい気分が残る体験でした。次はどんな体験ができるのか、今からとても楽しみです。

ありっちょの 体当たり 体験レポート vol.5

秋のキノコ汁めざし、 菌打ちに挑戦!

~「森をつくろう」
in 柚野~



体験する人
有正あかね

“ありっちょ”こと、有正あかねは「ろうきん森の学校」の全国事務局担当、前職の教員時代に、自然体験で子どもたちの心が輝くと実感。現在は、ホールアース自然学校で奮闘しつつ、環境教育のノリを目標としています! さて、今日のありっちょはどこへ行く?

去る2月17日(土)、富士山の見えない曇り空の富士山地区(柚野エリア)で、私、ありっちょは里山仕事を体験してきました。今日はエノキダケとキクラゲの菌打ちです。「木と菌には相性があるんですよ」などとスタッフに教えてもらいながら、菌を打ち込むための“ほだ木”を選び、直径1cmほどの穴をドリルで開けて、耳杓のような形の菌を打ち込んでいきます。何だか、見覚えのある光景だなあ〜と気になる私。

今回、ほだ木に使ったのは、クリ、クヌギ、クルミ、スギ。菌と相性の悪い木もありますが、今回はちょっと実験です。コンコンコン、参加者のリズムカルな菌打ちの音が林にこだまします。一方でゴツ、ゴツという不気味な音を鳴り響かせる手際の悪い私、と、その瞬間、幼い記憶が鮮明によみがえりました。「やったことがある! この



穴開けに夢中になる参加者



まずはドリルで
穴を開けます

4月から始めるプログラム、「里山染のすずめ」担当のナツこと服部奈津子です。里山の仕事と知恵を体感して、おなかも里山でいっぱいになりますよ!

仕事!!」。そういえば、幼いころ、実家でシイタケを作っていて、私もしっかり手伝っていたっけ…。そんな思い出も披露し、参加者のみなさんと「こんなキノコを育ててみたい!」と未来の話にも花を咲かせ、里山仕事は終了しました。是非、秋にはこのキノコと一緒に食べましょうね。



さあ、 水辺の季節だ



富士山の伏流水が流れる芝川。
川辺で涼むもよし、親子でカヌーに挑戦するもよし。水の冷たさを体感してください。



春の野草がニョキニョキ顔を出します。ヨモギやオオバコ、そしてネギのような香りのノビルはキャンプの食材に人気。



ノビルは地中の^{カネダ}鱗茎も一緒にゆで、餅ミソ和えに。

●山人の視点で森を見てみよう

「目からウロコの連続でした」、そんな声がたくさん聞かれた今回のワークショップは、信州・伊那谷で森づくりを実践する内田健一さんを講師に迎え、1月末に1泊2日で行いました。



日の中に美しい森が広がるといいな〜。

「森のことは現場で汗を流さなきゃ理解できないよ」と熱く語る内田さんの、使い慣れたナタやチェーンソーを持つその姿は、まさに“山人”。実習では胸高直径や木と木の間隔を測りながら、間伐でどの木を切るかを決めていきました。1木1木の木の生長具合を考えることはもちろんですが、大切なのは「森をデザインすること」。将来のイメージを描き、それに近づけるように手入れをしていくこと。森全体をひとつの庭のように考える内田さんの視点に、参加者から「ほおお〜」と感嘆の声があがりました。

●溶岩窯に続け! 溶岩電^{カネダ}を製作中

柚野エリアには富士山の溶岩で作った珍しいパン焼き窯があります。「パン

もおいしいけれど、おいしいご飯も食べたいよね」。そんな贅沢を実現するべく、今回は溶岩でご飯を炊く竈^{カネダ}を作ることになりました。富士山ならではの竈に夢がふくらみます。第1回目は材料を選び、木を切り、土台部分を組み立てました。終わった後は自分で炊いた玄米茶で一服。「溶岩電」で、薪を使ったおいしいご飯が炊ける日も近い!?



作業の後の、おいしいご飯を夢みて…。

溶岩 豆知識



溶岩は成分などによって粘度も色も変わります。火山の形も粘度が低いとなだらかに、粘度が高いともっこりと盛り上がります。富士山は、日本では珍しい玄武岩質溶岩で「シリカ」というガラス質が少ない溶岩。粘度が低いので溶岩流は三島周辺まで広がりました。溶岩からガスが抜け穴がたくさんできた軽石も、普通の白いものではなく黒っぽい「スノリア」となります。

ヤマウド、タラノメ、若タケノコ。 うまい山菜三昧！



湯ノ岳山荘周辺は山菜の宝庫!! そのほか、ユキノシタ、モミジガサなども楽しめます。一緒においしく食べませんか。

5月中旬までお花見が楽しめます

例年、4月上旬からソメイヨシノとヤマザクラが山一面を彩ります。いわき市内を車で走れば5月中旬までお花見ができます。

自然冒険ゾーン

管理道路

保護ゾーン

体験林ゾーン

トレイル (A)

森林学習ゾーン

バンガロー

トレイル (B)

山菜・キノコゾーン

広場

湯ノ岳山荘

炭焼き小屋

トレイルからは海も見えます



● ヤブを昔の里山にもどそう

暖冬とはいえ少し肌寒い12月17日、17名の親子が集まりました。ササとアカメガシワでおおわれた山を、果樹や花、緑があふれる昔の里山に変身させるためです。この山は10年前の山火事以来、そのまま放置され、約5ヘクタールが、ヤブになっています。



子どもたちの成長とともに、木も大きくなあれ。

まずはササやススキ、アカメガシワを刈り取り、カンザクラやカキなどの広葉樹を440本植えました。岩の多い場所に植樹の穴を掘るのは大変なので大人が担当し、子どもたちは植える専門。しっかりと「専門家」らしく、根木を踏み固め、寒くないよう枯葉をかぶせ、教えられたとおり丁寧に植えていきました。

● 気持ちのいい広場とトレイルが完成!

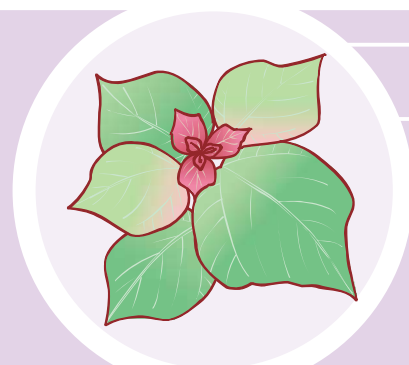
12月から1月にかけて湯ノ岳山荘の南側、広場周辺の枯れたり老いたりした木を伐採して、広場の拡大と整備のための大がかりな工事を行いました。この広場は、一部を駐車場に使い、残りは訪れた方がのびのびと活動できる

フィールドとして活用したいと思っています。

また、湯ノ岳山荘の周囲に約300mのネイチャートレイルを整備しました。リスの糞や食痕の観察ができたり、遠くに太平洋も一望できる気持ちのよいコースです。是非、みなさんも一度足を運んでみてください。



木守ちの向こうに海が見えます



アカメガシワの 生きる戦略

山火事や開発などで一度荒らされた場所に、真っ先に生え始める植物を「パイオニア植物」といいます。荒れ地に生きる先駆者、という意味です。アカメガシワはそうした植物の代表的な種です。アカメガシワの名前の由来にもなった赤い新芽は、実は昆虫には認識しにくい色です。しかも、若芽の根元には蜜腺があり、アリをおびき寄せて害虫たちから身を守ってもらいます。植物にもそれぞれ生きる戦略があるのです。

カイツブリも産卵の季節



春から夏の「万代池」では、カイツブリが浮巣に卵を産み、クサガメもふ化します。運がよければ出会えるかも!?



白慢の窯で焼くパンは最高!

● 森の探検とツリークライミング



クライミングで木の確保に役立つ道具を使い、登っています

12月のキッズキャンプのテーマは「森の探検とツリークライミング」。広島市内から集まった子どもたち24名は、森の中をヒミツの地図を使って探検したり、ロープを使って行うツリー

クライミングに挑戦しました。

自分の身長は何倍もある高さの木に登って、叫んだり笑ったり、大はしゃぎの子どもたちの声が森の中にこだまします。縄はしごを使った木登りでは、「もう1回やりたい!!」とアンコールの嵐。男女問わずの負けず嫌い選手権となりました(笑)。

このキャンプでは、環境教育リーダー養成講座の参加者もサポートに入り、環境教育実践の場としても生かされています。

● いよいよ始動! 小麦プロジェクト

地域の休耕田を利用して小麦を作り、パンを焼こう! という「小麦プロジェクト」。第1回目は、11月の種まきから始まりました。参加者は子どもから

中高年までさまざま。小麦の種まき初体験の人もいれば、懐かしいと語る人もいました。7畝の出んぼに、国産小麦ニシノカオリを約1時間かけてまきました。作業の後は、お待ちかねのパン作り。平日作業隊が丹誠込めて作った白慢のパン焼き窯でおいしく焼きあがったパンに、歓声と笑い声(?)があがり、みんなおなかいっぱい味わいました。小麦の生長と共に今後の展開が楽しみです。



「人さく育て〜」と熱いながら種をまきました



アメリカ生まれの木登り技術

ツリークライミングは、ロープやサドル(安全帯)を使って行う木登りです。アメリカの森林管理の技術が、1980年代にレクリエーション用にアレンジされて広まりました。登る技術は道具に任せ、子どもからお年寄りまで、誰もが高い木に登ることで自然との一体感や、高さへの恐怖を克服した満足感などを体験できます。子ども時代に木登りをする機会の減った日本でも、野外プログラムとして広まりつつあります。

森の掲示板

道具考

5

むね

縄



日本は古来より稲稈の縄を使うが、船や建造物には水に強い麻や檜を使った。現在も麻縄は船ばしで、橋の皮を叩きつぶして縄にしたマキハダは、船の防水用の詰めものに使う。ちなみに、綱は「つよきなわ」から来た言葉。

事務局より

もうすぐ黄金週間が始まります。今年から4月29日が「みどりの日」から「昭和の日」に変わり、「みどりの日」は5月4日になります。また、これまで1週間だった「みどりの週間」は、今年からは「みどりの月間」として拡充され、さまざまな緑化行事などが行われます。

このように「みどり」に象徴される自然への関心は、近年ますます高まっています。先号でも取り上げましたが、企業も社会的責任(CSR)の一環として、環境貢献分野への関心が高くなっています。2月、3月は、森づくり分野のCSR活動に興味がある企業と、行政・NPOが情報交換するフォーラムが、林野庁と静岡県主催で相次いで開かれ、どちらも定員を超える盛況でした。森林CSRの実践例として、ろうきん森の学校の取り組みをさらにPRしたいと思います。

ろうきん森の学校 活動予定

活動にはどなたでも参加できます。詳細は各地区の事務局にお問い合わせ下さい。

富士山地区

● 雄野エリア
● 千曲エリア
● 新緑エリア

4~5月

- 4月15(日) 里のめぐみのおすそわけ
～遊草菜～ ●2,000円
- 29(日)～30(月) 森と畑のようちえん
～野原であそぼう～ ●18,000円(親子1組)
- 5月12(土) いきもの自然紀行
～雉と葵っぱに目を向けよう～ ●1,500円
- 13(日) 森のワークショップ
～葉っぱと森へ～ ●5,000円
- 20(日) 里のめぐみのおすそわけ
～葉っぱと葵～ ●2,000円

6月

- 9(土) いきもの自然紀行
～虫と鳥～ ●1,500円
- 17(日) 里のめぐみのおすそわけ
～香り菜～ ●2,000円

7月

- 7(土) いきもの自然紀行
～初夏の森～ ●1,500円
- 8(日) 森のワークショップ
～雑木林と昆虫の関係～ ●5,000円
- 16(祝) 里のめぐみのおすそわけ
～野菜菜～ ●2,000円
- 21(土)～22(日) 森と畑のようちえん
～水であそぼう～ ●18,000円(親子1組)

Information
NPO法人ホーランドアース研究所 担当：山川、大戸
419-0305 富士郡芝川町ト 雄野165
TEL: 0544-66-0790 FAX: 0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp

Access
電車：JR身延線「西富士駅」よりタクシー・5分
車：東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



福島地区

● 湯ノ岳エリア
● 志戸・野々・西沢エリア

- 4月14(土) 自然わくわく観察会
～春の自然観察会と野外料理～ ●500円
- 5月12(土) 自然わくわく観察会
～森林整備と花作り～ ●200円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
● 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
● 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
● 第1、第3日曜日…調査
● 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

- 17(日) 自然わくわく観察会
～深溝コース探検～ ●200円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
● 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
● 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
● 第1、第3日曜日…調査
● 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

- 14(土) 自然わくわく観察会
～夏の自然観察会とクラフト～ ●500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
● 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
● 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
● 第1、第3日曜日…調査
● 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

Information
NPO法人いわきの森に親しむ会
970-8326 いわき市岩崎藤原町湯の岳2 湯ノ岳山荘内
TEL: 0246-44-3273 FAX: 0246-44-3273
E-mail: yurudake@gray.plala.or.jp

Access
電車：JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー・15分
車：常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



広島地区

※毎月第1日は甲山整備活動。参加自由・無料。
※参加は問い合わせを。

- 4月21(土) ユースボランティア養成講座
～自然体験活動・基礎編1～ ●5,500円(滞在費含)
- 21(土) 森のカフェ春～山菜採りと料理～ ●2,000円
- 5月3(木・祝) わくわく探検隊1～森の探検とカレー～ ●小3～中3 3,000円
- 12(土)～13(日) ユースボランティア養成講座
～自然体験活動・基礎編2～ ●5,500円(滞在費含)
- 19(土)～20(日) プロジェクトワイルド指導者養成講座 ●15,000円(滞在費含)

- 2(土) 小麦プロジェクト1
～収穫と天日乾燥～ ●2,000円
- 3(日) ユースボランティア養成講座
～自然体験活動・技術編1～ ●1,500円
- 9(土) 自然観察会
～昨りに集まる虫と観察しよう!～ ●1,500円

- 7(土) 週末森づくり隊
～下草刈りと燃焼づくり～ ●500円
- 8(日) 小麦プロジェクト2
～脱穀と白挽き～ ●2,000円
- 21(土)～23(月) わくわく探検隊2
～ツリークライミングと基地づくり～ ●小3～中3 15,000円(滞在費含)

Information
NPO法人ひろしま自然学校
733-0004 広島市西区打越町11-8-207
TEL: 082-237-1163 FAX: 082-237-8663
E-mail: nkk2002@mac.com

Access
電車：JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車：広島自動車道広島北I.C.より20分

